型試合規約（国際空手道連盟ルール・第 3 回ワールドカップ）

1. 審 判 基 準　審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。旗判定は 3 名以上の審判員がどちらか一方の旗を揚げて行う。引分は無い。審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。

2. 試 合 の 区 分　個人戦のみ。

3. 階 級 ・ 型

各地区予選会は、2026 年 11 月 22 日時点の年齢を基準にエントリーすること。

選抜階級	本戦型（選択式）	決勝トーナメント戦型
小 1(男女混合)	太極Ⅲ・平安Ⅰ	平安Ⅱ
小 2(男女混合)	太極Ⅲ・平安Ⅰ	平安Ⅱ
小 3(男女混合)	平安Ⅱ・平安Ⅲ	平安Ⅳ
小 4(男女別)	平安Ⅱ・平安Ⅲ	平安Ⅳ
小 5(男女別)	平安Ⅲ・平安Ⅳ	平安Ⅴ
小 6(男女別)	平安Ⅲ・平安Ⅳ	平安Ⅴ
中 1(男女別)	平安Ⅳ・平安Ⅴ	撃砕大
中 2・3(男女別)	平安Ⅳ・平安Ⅴ	撃砕小
グランドシニア女子（60 歳以上）	撃砕大・突きの型	征遠鎮
シニア女子(50 歳～59 歳)	撃砕大・突きの型	征遠鎮
マスター女子(38 歳～49 歳)	撃砕大・突きの型	征遠鎮
グランドシニア男子（60 歳以上）	撃砕大・突きの型	征遠鎮
シニア男子(50歳～59歳)	撃砕大・突きの型	征遠鎮
マスター男子(38歳～49歳)	撃砕大・突きの型	征遠鎮
一般女子(高校生以上)	最破・突きの型	征遠鎮・十八（選択式）
一般男子(高校生以上)	最破・突きの型	征遠鎮・十八（選択式）

4. 試 合 の 方 法

【個人戦】　本戦は本戦型(選択式)を単独で行い、2-3 名の審判員による採点で順位をつける。
基礎点は 20 点満点から減点方式、芸術点は加点方式による 30 点満点とする。基礎点と芸術点の合計点が高い順に順位をつける。同点の場合は、①芸術点が高い選手、②「呼吸を使った気の流れ・気迫」が高い選手、それでも決着しない場合は、③主審の採点で勝者を決める。
各階級 6 位まで(5 名以下の階級はその人数内で順位付けした全員）選出する。
決勝トーナメント戦はトーナメント式で決勝トーナメント戦型を行い、旗判定(3 人以上の審判)により決する。
決勝トーナメント戦の決勝戦以外の試合は 2 名同時に行い、決勝戦のみ 1 名ずつ行う。
決勝トーナメント戦のトーナメント配置順は上から、予選 2 位、3 位、5 位、6 位、4 位、1 位とする。

5. 着　　衣　選手は清潔な空手着を着用しゼッケンがある場合は背中の中央に貼り付けること。袖、裾の折り返しを禁ずる。

6. 評 価 基 準　基礎点と芸術点により、評価を行う。

基準点　(50点満点)	
基礎点(20点満点から減点方式)	芸術点　(加点方式・30 点満点)
ぶれ・バランス（最大5点減点）	雄大性（5点）
予備動作（最大5点減点）	技の切れ・インパクト（5点）
正確性（最大5点減点）	腰が入った連動性（10点）
力み（最大5点減点）	呼吸を使った気の流れ・気迫（10点）

7. 失　　格　①審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。判定時の「雄叫び」「ガッツポーズ」等礼節を欠いた態度を取った場合失格となります。
②出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
③申告した型と異なる型を演技した時、又は演技を途中で中断したとき。

8. そ　の　他　①道場・流派・会派による細部動作等の相違や気合の箇所の相違は評価基準の対象としません。
②判定に対する抗議は一切認めません。